

記者発表（~~発表~~・資料配布）

日	担当事務所・課名	TEL	発表者名	その他 配布先
7/12 (金) 10:00	阪神南県民センター 県民躍動室県民課（県民担当）	(06) 6481-4618	県民躍動室阪神交流参事 梅田 裕嗣 （県民課〔県民担当〕 班長 木村 聖洋）	—

中高生による地域課題チャレンジプロジェクト
～中高生が企画運営する第1回「未成年ホンネのBAR」開催～

こども家庭庁の発足をきっかけに、政策に子どもの声を反映させる試みが各地で始まっています。しかし、なかなか子どもたちのリアルな「声」を聴くことができません。

そこで阪神南県民センターは、阪神南地域（尼崎市、西宮市、芦屋市）に住んでいる、又は学校に通っている中高生自らが身近な地域課題を発見し、具体的な政策を立案、プレゼンテーションを行うことにより、自分たちの住んでいる地域への関心を高めることを目的とする政策立案チャレンジを実施いたします。

このチャレンジの第1回のキックオフイベントとして、中高生が企画運営する「未成年ホンネのBAR」を開催します。

記

1 内容

中高生がふだん思っている口に出せない「本当は学校でやってみたいこと」を、大人がバーのマスターに打ち明けるように、本音で話してみるイベント。「では実際にどうやったら実現するか？」をゲストと共に考えてみることで、政策提言のイメージをつかむ。

2 日時 令和6年7月27日（土）14:30～16:00

3 会場 共創書庫 136g（兵庫県西宮市甲風園1丁目 西宮北口駅北へ徒歩1分）

4 定員 25名

5 詳細 お申込み

阪神南県民センターホームページより



6 講師・コメンテーター

小木曾稔氏（政策渉外ドゥタンク・クロスボーダー 代表取締役）

1994年運輸省（現・国土交通省）入省。2006年楽天に入社。12年の新経済連盟の活動開始より政策部部長として政策提言作成業務に従事。現在、東京都デジタルサービスフェローも務める。Forbes JAPAN誌「日本のルールメーカー30人」選出。

7 実施 一般社団法人リベルタ学舎（阪神南県民センター委託事業）

【添付資料】

- ・「未成年ホンネのBAR」チラシ（参加高校生が作成）
- ・中高生による地域課題チャレンジプロジェクト全体の事業概要

今後のスケジュール（中高生による地域課題チャレンジプロジェクト）

- ・7月27日（土）：イベント実施後プロジェクト参加メンバー公募開始（中高生15名程度）
- ・8月25日（日）：Day1／プロジェクトキックオフ。チーム組成・課題発見・仮説立案
- ・9月8日（日）：Day2／チーム別に地域フィールドワーク
- ・10月6日（日）：Day3／経済産業省のゲストを迎えて、兵庫県・尼崎市・西宮市・芦屋市の職員と共に、政策立案チャレンジ
- ・10月20日（日）：Day4／プレゼンテーション作成
- ・11月16日（土）：阪神地域みらいづくりフォーラムにて発表